

○議事日程

令和6年3月13日(水) 午前9時00分開議

- 1) 議案第21号 令和6年度開成町国民健康保険特別会計予算について  
(第5ブロック) [質疑]
- 2) 議案第22号 令和6年度開成町介護保険事業特別会計予算について  
(第5ブロック) [質疑]
- 3) 議案第23号 令和6年度開成町給食事業特別会計予算について  
(第5ブロック) [質疑]
- 4) 議案第24号 令和6年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算について  
(第5ブロック) [質疑]
- 5) 議案第25号 令和6年度開成町駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別  
会計予算について  
(第5ブロック) [質疑]
- 6) 議案第26号 令和6年度開成町水道事業会計予算について  
(第6ブロック) [質疑]
- 7) 議案第27号 令和6年度開成町下水道事業会計予算について  
(第6ブロック) [質疑]
- 8) 議案第20号 令和6年度開成町一般会計予算について [討論・採決]
- 9) 議案第21号 令和6年度開成町国民健康保険特別会計予算について  
[討論・採決]
- 10) 議案第22号 令和6年度開成町介護保険事業特別会計予算について  
[討論・採決]
- 11) 議案第23号 令和6年度開成町給食事業特別会計予算について  
[討論・採決]
- 12) 議案第24号 令和6年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算について  
[討論・採決]
- 13) 議案第25号 令和6年度開成町駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別  
会計予算について [討論・採決]
- 14) 議案第26号 令和6年度開成町水道事業会計予算について [討論・採決]
- 15) 議案第27号 令和6年度開成町下水道事業会計予算について [討論・採決]

○本日の会議に付議した事件

議事日程に同じ

○出席委員(11名)

1 番 清 水 友 紀	2 番 吉 田 敏 郎
3 番 石 田 史 行	4 番 井 上 慎 司
5 番 武 井 正 広	6 番 星 野 洋 一
7 番 今 西 景 子	8 番 寺 野 圭 一 郎
9 番 佐 々 木 昇	10 番 山 下 純 夫
11 番 前 田 せ っ よ	(12 番 山 本 研 一)

○説明のため出席した者

町	長 山 神 裕 副	町	長 石 井 護
教 育	長 井 上 義 文	参 事 ( 兼 )	田 中 栄 之
参 事 ( 兼 )	中 戸 川 進 二	企 画 政 策 課 長	小 玉 直 樹
参 総 務 課 長	防 災 安 全 課 長	参 事 ( 兼 )	土 井 直 美
財 務 課 長	高 橋 清 一	総 合 窓 口 課 長	小 宮 好 徳
福 祉 介 護 課 長	奥 津 亮 一	参 事 ( 兼 )	岩 本 浩 二
参 事 ( 兼 )	井 上 新	子 育 て 健 康 課 長	
環 境 上 下 水 道 課 長		参 事 ( 兼 )	
		学 校 教 育 課 長	

特別会計（国保～介護～給食～後期高齢～駅前）質疑

総合窓口課	総合窓口班長	中野 敦志
福祉介護課	高齢介護班長	齋藤 旬矢
学校教育課	学校教育班長	尾川 幸寛
都市計画課	区画整理班長	川崎 雄右

企業会計（水道、下水道）質疑

環境上下水道課	上下水道班長	山田 英男
街づくり推進課	基盤整備班長	加藤 康智

○議会事務局

事 務 局 長 遠 藤 直 紀 書	記 佐 藤 久 子
-------------------	-----------

○委員長（前田せつよ）

皆さん、おはようございます。ただいまの出席委員は11名です。定足数に達しておりますので、これより予算特別委員会（第3日目）の会議を開会いたします。

午前9時00分 開議

○委員長（前田せつよ）

本日の予定は、議案第21号 令和6年度開成町国民健康保険特別会計予算についてから、議案第27号 令和6年度開成町下水道事業会計予算についてまでの詳細質疑を行います。議案第27号 令和6年度開成町下水道事業会計予算についての詳細質疑まで終了しますと、全8会計の詳細質疑が終了となります。その後、各議案別に討論、採決を行い、委員長報告の調整までを行います。

それでは、審査に入ります。第5ブロック、特別会計の質疑を行います。

説明員として出席の班長に申し上げます。発言を求める場合は「委員長」と発声し、挙手をしていただき、指名された後にマイクのスイッチが入っていることを御確認の上、課名と名前を述べてから発言をお願いいたします。

議案第21号 令和6年度開成町国民健康保険特別会計予算についてを議題とします。

国民健康保険特別会計の歳入歳出予算について、詳細質疑を行います。質疑をどうぞ。

10番、山下委員。

○10番（山下純夫）

おはようございます。10番、山下純夫です。

ページ数が、国民健康保険の特別会計予算の17ページになります。項目が5款保健事業費、1項保健事業費の17ページの一番下のところ、給付事業の中の人間ドックの助成費ですが、昨年度より減額がされています。令和4年度の実績ですと280万円程度の使用ということなのですが、事前のドックの受診者が実際に医療費が抑制されているというデータもありますので、この辺の、コロナもその前にあったので難しいと思うんですが、利用者の推移の傾向について御説明いただけますでしょうか。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課、中野でございます。ただいまの委員の質問にお答えをさせていただきます。

人間ドックの利用者に関しましては、今、ちょっとお話もありましたが、ここ数年、コロナの関係もありまして、若干動きが不安定に形にはなっております。ただ、長期的な推移としましては、今、国民健康保険の被保険者が徐々に減ってきているという状況がある中で、今は大体140件程度の御利用は普通にあるような状況でございます。

今回、6年度の予算に関しましても、その辺りの状況を見た上で、御利用の方が来て受けるのに十分な金額を確保したいということで、今回、この要求で載せさせていただいたものでございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

10番、山下委員。

○10番（山下純夫）

ただいま御説明いただきましたけど、そこに関連しまして次のページ、項目が保健指導事業費のところ、特定健診の未受診者に対する委託料、それから継続受診対策事業委託料というのがございます。先ほども言ったように、やはり受けていただいて、ここで少しコストがかかっても後々の医療費削減という大きな意味合いがありますので、そういうところでも増額になっているかと思いますが、この事業の詳細の中身について御説明いただけますでしょうか。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課の中野でございます。ただいまの質問にお答えをさせていただきます。

こちらの委託料で出しております未受診者対策等のものについては、上から順番に申し上げますと、まず血液検査委託料がございます。23万4,000円でございますが、こちらは検査の結果、非常に結果が気になるという方に対して、町で指導を行っているわけなんですけれども、その方々の検査に要する費用ということでございます。

また、未受診者対策事業委託料、こちらに関しましては、今、特定健診を御利用いただけていないという方がございますので、こちらの方へのアプローチということでの事業になります。今回、国民健康保険としては新規の事業ということになりますけれども、今まで直営で皆さんに受診していただきということでやっておったところがございます。今回、新たに民間に委託を出すということを考えておりました、民間の知見を取り入れた中で受診率、もっと多くの方に御利用いただきたいということで進めていきたいと思っております。

また、続きましての継続受診対策、指導事業委託についても同様の考え方でございます。民間の知見を利用して広めていくという流れの中でのものでございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

10番、山下委員。

○10番（山下純夫）

ただいま御説明いただきましたけれども、民間委託の具体的な中身が決まっていれば教えていただければと思いますが。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課、中野でございます。今の質問にお答えをさせていただきます。

今回、具体的な内容としましては、民間の事業者をお願いをしまして、今、受けていただけていない方、あるいは検査の結果が気になる方に関して、例えば電話等で、まずアプローチを取っていただくということを考えています。もちろん、今までも役場としてやっていなかったわけではございませんが、どうしても、皆さん、今、生活のパターンとかが多々ある中で、土曜日とか日曜日、あるいは休日、こういったところへのアプローチ、どうしても弱いところが正直ございました。こちらは、民間がそういったところをフォローするといったところで、今回、上げさせていただいているところでございます。

また、実施に当たりましては、今は成果報酬という考え方を今回取り入れさせていただいております、ある程度目に見える結果を出す、委託した部分について出ない場合に関しては、委託料がその分、少なくなるということを考えておまして、変な話、出して終わりではなくて、事業者としてのそういった努力も求めていきたいという形でのものがございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

4番、井上委員。

○4番（井上慎司）

4番、井上です。

同じく国民健康保険、保健指導事業費、今と同じ部分について伺います。事業詳細の説明のときに、受診率の低い40代から50代の方に対して特に重点的にアプローチをしていくという中で、セミナーの開催という部分のお話があったかと思うんですが、今の御説明の中でセミナーについては特に言及されていなかったのですが、もし、その部分、もう一重説明があれば、お願いいたします。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課、中野でございます。今の質問にお答えをさせていただきます。

大変失礼しました。今、御指摘のありましたセミナー、こちらの開催も含んだ中での事業とお考えいただければと思います。個別の御案内も、また全体のセミナーということも含めての事業でございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

4番、井上委員。

○4番（井上慎司）

事業の中にセミナーも含まれるということで理解いたしました。ただ、セミナー

開催に当たって、特定健診にそもそも来られない方にセミナーに来てもらうということが大変難しいことかと思いますが、セミナーへの参加率等も例えば数値化をして、委託事業者に最低でもこれぐらいの人に来てほしいと何か数値目標を設定したり、こちらでもそういった取組はされるのでしょうか。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課、中野でございます。ただいまの質問にお答えをさせていただきます。

セミナー開催に当たりましても定員を設けさせていただいておりまして、この定員までは集めたいということで実施をする予定でございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

4番、井上委員。

○4番（井上慎司）

今回、委託という中で新しい取組をしていくのは大変よいことかと思いますが、ただ、「やりました」で、これまで終わってしまう事業が大変多かったと思いますが、成果報酬方式等を導入される中でしっかりと結果を出していただきたいと思います。答弁は結構です。

○委員長（前田せつよ）

質疑、ほかにございませんか。

8番、寺野委員。

○8番（寺野圭一郎）

おはようございます。8番、寺野でございます。

ファイルナンバー22、ページ8、1款給食事業費。ああ、ごめんなさい。

○委員長（前田せつよ）

現在、議案第21号を審議中でございますので。

○8番（寺野圭一郎）

はい、すみません。

○委員長（前田せつよ）

はい。それでは、撤回ということで理解しました。

ほかに質疑はございませんか。

6番、星野委員。

○6番（星野洋一）

6番、星野洋一です。

ページ9ページ、県支出金の中の一番下、保険給付費等交付金（特別交付分）、その中の保健指導事業費ということで少しお聞きしたいと思います。これ自体は今まで300万円から、200万、300万ぐらいだったのが、今回は966万9,000円ということで歳入になっております。

ページ18ページで歳出のほうでは、それに対して保健指導業務委託金ということで192万5,000円ということで今回、新たに入っておりますが、これについて、もう少しお教えいただけますでしょうか。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課、中野でございます。ただいまの委員の質問にお答えをさせていただきます。

今回、保険給付費特別交付ということで900万余りのものを計上させていただいております。前年はおっしゃるように300万なので、大分上がっているところでございます。こちらは保健指導の事業費、先ほど御質問があったところでもございますが、こちらの費用に対して連動して10分の10補助というところで見込んでいるものでございまして、指導の事業費が上がったことによりまして、こちらの県の交付金も連動して上げさせていただいたという部分でございます。

以上でございます。

○委員長（前田せつよ）

6番、星野委員。

○6番（星野洋一）

連動して上がってきたということですが、もう少し、今度は支出のほう、歳出の保健指導事業費の190万をもう少し説明していただけますでしょうか。18ページ、保健指導事業費の中の保健指導事業委託費192万5,000円です。この辺を、もう少し説明いただければと思いますが。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課の中野でございます。ただいまの質問にお答えをさせていただきます。

保健指導事業委託料192万5,000円に関しては、先ほど申し上げました成果報酬による指導の部分、こちらの事業で見込んでいるものでございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

ほかに質疑はございませんか。

3番、石田委員。

○3番（石田史行）

3番、石田史行でございます。

ページは9ページ、歳入になりますけれども、県補助金の中の保険給付費等交付金（特別交付分）ということで4,100万ほど予定されております。前年度と比較しまして800万ほど増となっておりますけれども、増の要因を確認させていただきたいと思っております。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課、中野でございます。ただいまの質問にお答えをさせていただきます。

今回、特別交付分、各市町村の事業等の個別事情に応じて交付されるものですが、大きく増えた要因は2つございます。1つには、これは歳出のほうでございますが、特定健診事業費、こちらの増加に応じまして、こちらは3分の1の補助率でございますが、この3分の1に応じて伸ばさせていただいたもの。もう1点は保健指導事業費でございます。こちらは、10分の10の補助率に関して事業費がやはり伸びておりますので、それに応じて伸ばさせていただいたものがございます。この2つの大きな要因によりまして、今回、特別交付分が伸びてございます。

○委員長（前田せつよ）

3番、石田委員。

○3番（石田史行）

増の要因、今の班長の説明でよく分かりました。これまでの質問でも出る出ていますけれども、特定健診の事業というものがとても大事かなと思っているところがございます。医療費の抑制という意味でも受診率を上げていかななくてはいけないと思うのですが、ちなみに開成町の特定健診の受診率というのは県内でもトップクラスと伺っておりますけれども、新年度の特定受診の受診の率はどこを目指しているのか、現状も含めて教えていただきたいと思っております。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課、中野でございます。今の委員の質問にお答えをさせていただきます。

今おっしゃられますように、開成町の特定健診の受診率、県内でも大変高い状況でございます。令和4年度におきましては41%余りでございましたが、令和6年度に当たりましては、それを超えて42%、できましては43%まで見込んでいきたいと思っております。頑張っていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

3番、石田委員。

○3番（石田史行）

なかなか、特定健診を受けてもらうためにいろいろと、未受診者対策も含めていろいろと力を入れていらっしゃると思いますけれども、私自身も含めて、私も2年に1回程度、受けるようには努力しているんですけど、なかなか各事情もありますので、引き続き特定受診率のアップということを目指して頑張っていきたいと申し上げて私の質問を終わります。

○委員長（前田せつよ）

ほかに質疑はございませんか。

(「なし」という者多数)

○委員長 (前田せつよ)

以上で、議案第21号 令和6年度開成町国民健康保険特別会計予算についての質疑を終了といたします。

議案第22号 令和6年度開成町介護保険事業特別会計予算を議題とします。

介護保険事業特別会計の歳入歳出予算について、詳細質疑を行います。質疑をどうぞ。

5番、武井委員。

○5番 (武井正広)

5番、武井です。

15ページになりますでしょうか。施設介護サービス費になりますか、3億7,000万。前年に比べて6,455万アップということで、開成町自体、先日の説明の中で75歳以上の伸び率が県内1位という説明がありましたので、そういったところかなと思うんですが、人数なのか費用が上がってきているものなのか、その辺の要因というところを説明願います。

○委員長 (前田せつよ)

福祉介護課班長。

○高齢介護班長 (齋藤旬矢)

福祉介護課、齋藤です。ただいまの委員の質問にお答えさせていただきます。

施設サービスにつきましては、近隣等で特別養護老人ホーム等の増床とかがあった関係で、施設入所者が増えたことに伴って増加という形とさせていただきます。ちなみに、令和5年度にも補正予算でも増額させていただいているところでございます。

以上です。

○委員長 (前田せつよ)

5番、武井委員。

○5番 (武井正広)

ありがとうございました。特養が増床したので入所が増えてきたという要因だということですが、今後、開成町、高齢者が急増してきて、特に、先ほどもお話ししましたけれども75歳以上の伸び率は県内1位だと。近隣が高齢者さえも減り始めている地域もある中で、増えてきたと。特に、ここの金額、当然大きくなっていくわけですが、今後の見通しというののかなり大きくなっていくものなのかというところは、どう考えられていますか。

○委員長 (前田せつよ)

福祉介護課班長。

○高齢介護班長 (齋藤旬矢)

福祉介護課、齋藤です。ただいまの委員の質問にお答えさせていただきます。

こちらにつきましては、基本的には、高齢者の人口が伸びていく形が続く限りは入所者の数についても増えていくという見込みでございますので、開成町の人口につきましては、当面、まだ伸びるという傾向が続いておりますので、この傾向はしばらく続くのではないかと考えております。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

1番、清水委員。

○1番（清水友紀）

1番、清水です。20ページ、中段の、2項の包括的支援・任意事業費の中の事業名1、地域包括支援センター運営事業費についてです。この辺り、前年度と比較して特に金額の大きな増がないんですけども、65歳以上というのは大変増加傾向にあって、また、認知症総合支援事業としては脳の健康教室を新たに実施というところもありまして、こちらの費用がこのように抑えられているという要因をお聞かせください。

○委員長（前田せつよ）

福祉介護課班長。

○高齢介護班長（齋藤旬矢）

福祉介護課、齋藤です。ただいまの委員の質問にお答えさせていただきます。

まず、地域包括支援センターの委託業務につきましては、基本的には包括支援センターを運営する職員の人件費が主な経費となっておりますので、基本的に、事業が少し増えたからといって大きく増減するということはあまりないというところでございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

1番、清水委員。

○1番（清水友紀）

では、体制が変わらない中での新たな事業実施ですとか対象人数の増加というところで、引き続き抑えながら質を保つというところでよろしいでしょうか。

○委員長（前田せつよ）

福祉介護課課長。

○福祉介護課長（奥津亮一）

それでは、ただいまの委員の御質問にお答えさせていただきます。

委員のほうで御心配されていることは、ごもっともだと思いますけれども、地域包括支援センターにつきましては、人員についても一定程度、人数の整備はさせていただいております。専門職が今4名という形で、やらせていただいております。

高齢者人口が1,500人当たりで1名ぐらいというところが国から示された中で、以前、3名から4名に増員させていただいて、今現在、運営をさせていただいております。高齢者人口も、それほど、まだ4人で6,000人というところまで

行ってございませんので、その辺りを見ながらにはなりますけれども、現時点では、ただいまの体制で、やるべきことをしっかりと包括のほうでやっていただくというところで考えてございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

1 番、清水委員。

○1 番（清水友紀）

新たな事業を追加したり人数が増加したりというところで、このように費用が変わっていないので、福社会館の改修工事が影響して、どこかにプラスがあればマイナスがあつての差がない状態なのかなとも思ったのですが、そちらの影響はないのでしょうか。

○委員長（前田せつよ）

福祉介護課、課長。

○福祉介護課長（奥津亮一）

こちらの包括支援センターの運営事業費につきましては、あくまでも地域包括支援センターの運営費に係るものでございますので、ただいま委員おっしゃられた福社会館の改修ですとか、そういったものについては関係が特にないということでお答えさせていただきます。

○委員長（前田せつよ）

ほかに質疑はございませんか。

1 0 番、山下委員。

○1 0 番（山下純夫）

1 0 番、山下純夫です。

ページ数が14ページ、最上段になります。介護認定審査会費で、これが性質上、あまり大きな変動はないのかなと思える項目名なんですけれども、100万円とはいえ15%程度減少しているので、負担率の計算方法と、それから減少した要因等を御説明いただければと思います。

○委員長（前田せつよ）

福祉介護課班長。

○高齢介護班長（齋藤旬矢）

福祉介護課、齋藤です。ただいまの委員の質問にお答えさせていただきます。

認定審査会の負担割合については、かかる経費に対して構成する市町村での人口割で算出しているところでございます。令和6年度の予算のマイナスにつきましては、令和5年度分の精算とかが生じますので、精算による減少によるマイナスとなっております。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

ほかに質疑はございませんか。

(「なし」という者多数)

○委員長(前田せつよ)

以上で、議案第22号 令和6年度開成町介護保険事業特別会計予算についての質疑を終了します。

議案第23号 令和6年度開成町給食事業特別会計予算についてを議題とします。

給食事業特別会計の歳入歳出予算について、詳細質疑を行います。質疑をどうぞ。

7番、今西委員。

○7番(今西景子)

7番、今西景子です。

8ページ、給食材料費、こちらは58万3,000円減額となっております。

昨年の6月の定例会で給食材料費高騰のため補正予算が提出されましたが、材料費、高騰分も加味されていますでしょうか。

○委員長(前田せつよ)

学校教育課班長。

○学校教育班長(尾川幸寛)

学校教育課の尾川です。お答え申し上げます。

今回の予算につきましては、物価高騰の分については特段見込んでおりません。

以上です。

○委員長(前田せつよ)

7番、今西委員。

○7番(今西景子)

今後も物価高騰は続いていく、また、下がることはなかなかないかと思いますが、今年度、もっと給食材料費として必要になった場合は、また補正予算が組まれますでしょうか、それとも給食費を上げるような方向になりますでしょうか。

○委員長(前田せつよ)

学校教育課、班長。

○学校教育班長(尾川幸寛)

学校教育課の尾川です。お答え申し上げます。

今年度につきましては、6月補正におきまして物価高騰対策はさせていただいたところですが、来年度につきましても、国の通知があつて地方創生交付金の活用ができる場合につきましては、対策を、またさせていただきたいと考えているところでございます。

○委員長(前田せつよ)

よろしいですか。

8番、寺野委員。

○8番(寺野圭一郎)

8番、寺野でございます。先ほどは大変失礼いたしました。

お隣の南足柄市は来年度から無償化を予定しております。人口も違いますし税収

も違うので一概には言えないのは十分承知はしておりますが、先々、5年、10年先、こういった無償化の考えとかはございますでしょうか。お願いいたします。

○委員長（前田せつよ）

参事兼学校教育課長。

○参事兼学校教育課長（岩本浩二）

お答えを差し上げます。

先ほどの委員の御質問もございましたけれども、まず、安定的な給食運営をするという意味で、物価上昇等に対応する給食費の在り方、補填等も含めて、そこをきちんと考えて、子どもたちの食の安全、また、給食のある程度一定水準の維持みたいなことを優先に考えていきたいと思えます。その先に給食の無償化云々という話があるかということですが、そこは今、基本的には考えてはおりません。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

8番、寺野委員。

○8番（寺野圭一郎）

ありがとうございます。今のところはということなので、先々考えていただけるとうれしいなと思えます。

続いて、今、御答弁の中で食の安全、一定的な水準とございました。小学生、中学生の世代というのは、私たちも、もちろんそうなんですけれども、口から入るもの、食べ物、飲物で体はつくられてきます。なので、一定の水準を維持しつつも、そういったところも踏まえて今後も事業運営、お願いをしたいと思います。

以上です。答弁は結構です。

○委員長（前田せつよ）

4番、井上委員。

○4番（井上慎司）

4番、井上です。

同じく給食材料費、1億1,201万1,000円について伺います。食の安全という部分でお話もありましたが、実際、給食材料費の中には牛乳というものも入っていると思えます。開成町、幼・小・中の完全給食を行っているというのは大変評価できるところでありまして、昔からこの地域で育ってきた私にとっては、もう当たり前だったのです。幼稚園から給食、中学校も給食を食べて義務教育を終えられるというところが。

完全給食という中に含まれる牛乳、牛乳の廃棄が本当に私、ずっと気になり続けております。私自身、ひいおばあちゃんから、お米1粒には1,000人の神様がいると言われながら、食べ物を残さないように大切にありがたきいただきなさいと育てられてきた中で、やっぱり給食の廃棄、フードロスというものが大変気になっています。

給食費無償化という話はいろんなところで出ているのですが、ただただ無償化に

すればいいというところではなくて、もっと根本的なところで、ちゃんと残さず食べる、あるいは給食の内容も、残さないで、子どもたちが残さずにいられるような内容を新たに検討していくという必要もあるかと思っております。こういった部分で、牛乳だけにかかわらず、給食の中身というものについて今後、何かお考えがあれば伺います。

○委員長（前田せつよ）

参事兼学校教育課長。

○参事兼学校教育課長（岩本浩二）

お答えを申し上げます。

給食の献立につきましては、栄養士の先生方を中心に様々な工夫をさせていただいているところでございます。令和5年度におきましては、開成小学校の150周年の記念のイヤーということで、給食の献立に子どもたちが考えたキャラクターをプリントしたノリが出てきたりだとか、地産地消の食材で様々な子どもたちに開成町のことを知っていただく機会にさせていただいたりだとか。様々な工夫もしながら、献立によって給食、食への興味が増すことで、ある意味、不登校の対策にもつながっているというような側面からのアプローチもしているところでございます。

小学校、中学校、幼稚園もそうですけれども、様々な視点から、栄養教諭を中心に給食、食の在り方というものは様々な工夫を続けておりますので、今、委員御指摘の部分で多少見えない部分があるのかなというところで、我々の情報発信の不足というものは課題として反省をしているところですが、今後、そういう動き、流れがある場合には、積極的な情報発信にも努めてまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

4番、井上委員。

○4番（井上慎司）

食育の中で楽しく食べるというのはとても大切なことだと思いますし、これまで、しばらくの間、「黙食」という言葉が、もう学校給食の中でびっしりと敷き詰められているような期間というものもありました。楽しく食べるということは、とても大切だと思います。

先日の町民集会、まちづくり町民集会、第1日目、参加させていただきました。その中で20代の若いお父さんが挙手されて申されていたことが、家庭でしっかり食育を進めていると。お代わりしたいんだったら、あるものを全部食べてからお代わりをください、そのように教えていると。だけど、幼稚園では食べたいものを先にお代わりができてしまうという指導をされている中で、自分の家の子が全部食べてからお代わりしようとする、お代わりしたいものがなくなってしまっていて、結果としておなかいっぱいになって帰れない、そういったお話がありました。

家庭でも取り組まれている、また、幼稚園としては、できるだけ残さないようにという取組もされているのかと思います。今、参事が申されていたとおり、しっか

りとした情報発信、園としてどういう取組をしている、学校としてどういう取組をしているのかというところをしっかりと家庭にお伝えすることによって、こういったそごというものも減っていくのかと思いますので、そういった部分の取組をしっかりとやっていただきたいと思いますが、最後、もし町長や教育長から、そういった部分での何かお考えがあれば伺いたいと思います。

○委員長（前田せつよ）

教育長。

○教育長（井上義文）

ただいまの御質問にお答えします。

学校は食育をさらに進めなければいけないという部分では、委員おっしゃったとおりです。なおかつ、子どもへの食育のみにかかわらず、家庭を巻き込んだ食育をもっともっと進めないと、世界に飛び立つ子どもたちですので、世界中にはいろいろな食べ物があって、それを食べられないと、そこで生活していけないという直面があるわけです。そういうものも含めて、家庭をも巻き込んだ食育をできるだけ推進していきたいと思っています。

なお、現場は現場で相当苦しんでいます。各家庭、いろいろございます。そこも加味した上で食育の推進をしていきたいと思っています。ありがとうございました。

○委員長（前田せつよ）

1番、清水委員。

○1番（清水友紀）

1番、清水です。

同じ8ページの給食材料費なんですけれども、こちらは無償という話が出ましたが、義務教育というところで補助が全額、半額、だんだん増えてきていますが、競争のようになっていくように見受けられるところがありまして。こちらは、今、開成町は、このように保護者に対して設けているわけなんですけれども、予防接種と通ずるところがありますが、県や国に自治体にといいるところで一律での指導といいますか補助をお願いするような動きはあるのでしょうか。

○委員長（前田せつよ）

教育長。

○教育長（井上義文）

ただいまの御質問にお答えをいたします。

まず、学校給食について、「ねばならない」ではないんです、国としては。給食室等を望ましい、あるいは努力義務的な。ですので、先ほどもありましたが、開成町については幼稚園から中学校まで完全給食を実施しているという、非常に珍しい町なのです。ですので、その観点からすると、国から、なかなかそういう、「ねばならない」の世界ではないので、一律にという、多分、指導は入ってこないだろうと。ただ、交付金等をたくさん、今、出していただくような働きかけは、それぞれ教育長会等々でもしているところで、現実、若干の交付金を頂いているという状況

があります。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

2番、吉田委員。

○2番（吉田敏郎）

2番、吉田です。

同じく、給食の材料費について質問させていただきます。今回、幼・小・中、中学校も委託になりますけれども、1億1,201万1,000円のこの中で、分かっただけで結構ですけれども、地元業者からの仕入れの状態でどのくらいのパーセンテージがあるのか、分かれば回答をお願いします。

○委員長（前田せつよ）

学校教育課班長。

○学校教育班長（尾川幸寛）

学校教育課の尾川です。お答え申し上げます。

給食の納入業者ということでございますが、基本的に町内ということで申し上げますと、それぞれ食品が肉類とか魚類、野菜類、冷凍食品、様々ございますが、大体、会社といたしましては21社、合計あるうちの大体3分の1ぐらいは町内業者ということで賄っているところでございます。

○委員長（前田せつよ）

2番、吉田委員。

○2番（吉田敏郎）

2番、吉田です。

町内、率でいくと3分の1が町内業者の方から仕入れているということで。非常に栄養士さんが考えて、いろいろ注文してくれているのは分かります。その中で、率的にはかなりの率が地元業者の方から入っているということで理解しました。

ただ、その中で、物によりますけれども、少し高いかもしれないけれども、丁寧に、しっかりといいものを届けられるんだけれどもなという声を聞く業者さんもいらっしゃいます。どうしても量的にとかを考えると、なかなか地元業者から仕入れることは難しい面があるかに聞いておりますけれども、その辺。確かに、金額的なことも考えることはありますけれども、3分の1、この程度が地元業者から入っているということを考えますと、いま一つ突っ込んで、そういう例えば魚、肉に対しても、本当に、ちょっと、繰り返しますけれども、質のいいものを。ほんの少し高いけれども、丁寧に一人一人しっかりと対処して納入することができるんだという声を聞きますので、それに対して、もし答えられればお願いします。

○委員長（前田せつよ）

参事兼学校教育課長。

○参事兼学校教育課長（岩本浩二）

お答えをさせていただきます。

食材の単価みたいなところと、あと、全体的に仕入れの量の確保ということが現実問題として可能であれば、そういうことの検討の余地はあると思っています。ただ、今、先ほど3分の1が町内業者ということでお答えさせていただきましたが、食材そのものの量のある程度安定的に確保できないというところの問題が、一番、今、全ての食材料について町内業者で賄えないというところの主な原因だと思っていますので。

そこは、今、委員おっしゃるように、よりいいものを、より安価でということが一番いいのですけれども、直接、農家さんとも地産地消の取組の中でやり取りをさせていただいているようなこともございますし、各店舗とも、今、申し上げたような条件がきちんと整うようなことであれば、ぜひ我々も検討していきたいですし、当然、町内業者ということの中で町内の経済が給食を通してよりよく回っていけばという部分は、当然、視点としては持たなくてはいけないという意識はございますので、今後、様々な条件が整うような形であれば、我々も積極的に、そういうものは取り入れていきたいし、そういうものは検討していきたいと考えております。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

2番、吉田委員。

○2番（吉田敏郎）

参事から、そのような形で答弁をもらいましたので。本当に細かなことですが、そういう形で対処していただくことで理解をしましたけれども、例えば、町外の業者からたくさんの量を仕入れて、どうしても、あるものが少し足りない場合に、町内の業者にさっと頼んで、すぐに持ってきてくれると、そういうこともあったように聞きます。そういうことはしっかりと町内の業者の方が、そういう面でしっかり対応してくれるということもありますけれども、これからも町内の業者で地産地消。本当に量も賄え、また、安全なものが提供できるということも踏まえた上での検討をしていただくということでもありますので、これからもよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（前田せつよ）

10番、山下委員。

○10番（山下純夫）

10番、山下純夫です。

給食の安全な提供ということで、最近、給食事業者を取り巻く経営環境の悪化ということがよく報道されますけれども、委託している業者の経営状態の把握、これをどのようにされているか、御説明願います。

○委員長（前田せつよ）

学校教育課班長。

○学校教育班長（尾川幸寛）

学校教育課の尾川です。お答え申し上げます。

学校給食調理業務の委託に関しましては、これは入札で業者のほうは指名競争という形でさせていただいております。過去、学校等において実績がきちんとある業者ということで、もちろん事故も起こしていないということが入札の条件となっておりますので、そのような形で質としては担保しているところでございます。

○委員長（前田せつよ）

10番、山下委員。

○10番（山下純夫）

これまで、急遽破綻して業務が継続できなくなったなどという報道をされたところも、恐らく、同様のスクリーニングというか入札は経てされたところだと思いますので、いま一重、条件の面で経営状態的なものをしっかりと入れていく、あるいは、こちらで監査できる体制が必要だと思いますが、その辺りの考えについて御説明ください。

○委員長（前田せつよ）

学校教育課班長。

○学校教育班長（尾川幸寛）

学校教育課の尾川です。

経営状態ということでもございますので、そのようなところも含めて、今後しっかり業者と調整をしていきたいと考えているところでございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

教育長。

○教育長（井上義文）

若干の補足をさせていただきます。

まず、学校給食として一番大事なことは安全であること。500名、600名の子どもたちがいる中で、一たびあれば大勢さんがえらいことになるという部分がありますので、業者とは、まず安全面、それから確実に給食が提供されるという安定性ということになるかと思います。

その中で、地域のリーダーと言われるんですかね、の方が定期的に学校を訪問して、栄養士といろいろとやり取りをしている。場合によれば校長とも面談等がされている中で、学校としても教育委員会としても業者とできるだけそういう経営面、運営面での留意事項等の確認も若干はしているところです。毎日というわけにはいきませんが、一応、そういう部分で配慮はしているところであります。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

ほかに質疑はございませんか。

（「なし」という者多数）

○委員長（前田せつよ）

以上で、議案第23号 令和6年度開成町給食事業特別会計予算についての質疑

を終了します。

議案第24号 令和6年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算についてを議題とします。

後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出予算について、詳細質疑を行います。質疑をどうぞ。

5番、武井委員。

○5番（武井正広）

5番、武井です。

9ページの少し下のほうになりますが、後期高齢者医療広域連合納付金ということで3億1,431万2,000円ということになっているんですけども、先ほども少し話しましたけれども、以前の説明で75歳以上の伸び率が県内1位で2,766人という話がありました。いよいよ開成町も高齢化だなというところで、これは、連合への納付金という形は金額的に分かるんですけども、では、実際、医療費としてかかっている、例えば75歳以上ですと1割とか2割の方もいらっしゃるかもしれませんが、そういった意味での医療費総額というのは、どのくらいとして来年度は見込んでいるんですかね。そういう数字というのは、何かあるんでしょうかね。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課、中野でございます。ただいまの委員の質問にお答えをさせていただきます。

申し訳ありません。医療費の今、総額の費用の資料を今ここに用意してこなかったもので、1回確認の上で、改めてお答えさせていただいてもよろしいでしょうか。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

ほかに質疑はございませんか。

1番、清水委員。

○1番（清水友紀）

1番、清水です。

6ページ、歳出のまとめの表ですけども、合計金額がかなり増額、前年度比較増額しているということ、今お話にありましたが、県内で伸び率が1位というところですよ。あと、医療費が、令和4年度ですけども、1人当たりの医療費が県平均よりも低いと伺ったと思ったんですけども、そこでの伸び率1位というところの要因といいますか、背景にあることをお聞かせください。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課、中野でございます。ただいまの委員の質問にお答えをさせていただきます。

今、医療費が大変伸びている状況ということでございまして、もちろん、こちらは高齢化に伴うものが一番大きな要因、御長寿の方が増えれば、その分、医療を使う機会も多くなるということがございます。

また、今、開成町は人口が大変伸びておりまして、中には開成町にできた施設を利用される、入居のために来られている方という方もございます。これらの方々の医療費に関しましても開成町の分としてカウントされる形になる部分がございますので、その分で全体がより伸びているという状況と判断しております。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課、課長。

○総合窓口課長（土井直美）

補足させていただきますと、後期高齢者は県平均よりも低い状態ではありますけれども、国民健康保険、74歳以下の医療費は、開成町は神奈川県でもトップクラスなのです。ベストファイブに入るぐらいの医療費の高さでございます。その方たちが後期に入ってき始めているので、だんだん医療費を使う方たちが後期のほうに流れてきているというのも要因の1つ。

また、国民健康保険のほうですけれども、若干、開成町は生活習慣病の透析患者等が多いというデータもございます。やはり透析患者というのは1人当たりの医療費が高額でございますので、その方たちの数が若干多いということで医療費を使っているというデータもございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

ほかに質疑はございませんか。

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課の中野でございます。

先ほど武井委員から医療費の全体額についてのお尋ねがございまして、ごめんなさい、数字が分かりましたのでお答えを申し上げます。令和6年度におきましては、おおよそ24億3,700万余りを開成町として見込んでいるところでございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

5番、武井委員。

○5番（武井正広）

5番、武井です。

ありがとうございます。24億の医療費というのは医療費総額ということで、1割もしくは2割負担の合計ということではないということの認識でいいわけですね。

お願いします。

○委員長（前田せつよ）

総合窓口課班長。

○総合窓口班長（中野敦志）

総合窓口課、中野でございます。ただいまの質問にお答えをさせていただきます。

こちらは、全体の金額ということでお考えいただきたいと存じます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

よろしいですか。

ほかに質疑はございませんか。

（「なし」という者多数）

○委員長（前田せつよ）

以上で、議案第24号 令和6年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算についての質疑を終了といたします。

議案第25号 令和6年度開成町駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計予算についてを議題とします。

駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計予算の歳入歳出予算について、詳細質疑を行います。質疑をどうぞ。

5番、武井委員。

○5番（武井正広）

5番、武井です。

すみません、ページが。ちょっとページは、すみません、今、そこが開かなかったので申し訳ないです。繰越しの話であります。令和5年度の当初予算が9億6,300万4,000円と。そのうちの57%の5億4,819万9,000円が先日、繰越明許ということで通ってきまして、令和6年度の予算にのってくると。総額の話なんですけれども。令和6年度の予算が8億1,424万8,000円と。そうすると、合計が令和6年度、13億6,244万7,000円というところで駅前通り線が、流れている話なんですけれども、総額としては動いていくというところで、結果的には一番大きな予算がいよいよ動く年になるということだと思えます。

本当に大変な年であって、体制も整えながら、大変なことはすごくよく分かるんですけれども、地権者の方々も大変多くいらっしゃいますので、本当に丁寧に進めていただきたいと思いますと思いますけれども、その辺をどう考えられていますでしょうか。

○委員長（前田せつよ）

都市計画課班長。

○区画整理班長（川崎雄右）

都市計画課、川崎です。ただいま御質問について、回答させていただきます。

まず、予算の大きさ、繰越予算もあり、また、当該年度の予算、令和6年度の予

算もありという中で、繰越予算については、まず全てが全く手つかずで繰越しをするというわけでもなくて、やはり土地の買取りをしながら建物の除却をしていただいております。除却については除却期限を設けておりますが、年度内での除却が難しかったので、契約は済んでいるけれども除却まで至らなかったのが繰り越したのもございますし。

あとは、交渉していて、どうしても除却期限というのが年度での区切りになってきますので、大体、年度の後半期、令和5年度の後半期でお話がまとまってきているものについては、契約のタイミングを次年度、令和6年度の4月として、1年間でしっかり除却をするために繰越しをするものということで、既に令和6年度の4月に契約を控えている方たちの物件も大分、相当数ございますので、そういったところで繰越しについては行っていきます。

また、令和6年度予算についても、委員から御質問のとおり、権利者と丁寧に交渉を進めていくためにというところで、権利者の皆様も土地を売却する、あるいは移転をするというのは非常に大きな事でありまして、御負担もある。ただし、非常に大きなターニングポイントとなりますので、真剣に考えて売却することを検討したいという方が相当数いたと。

事業全体では、令和6年度に仮換地指定をするということで権利者の皆様には御説明をしていて、今まさに権利者の方全員を対象に個別に回って最終的な御判断、御意見をお伺いして回っているところでございますので、そういった中で、既に売却を希望するという、また検討したいというお声があったものに関しては、やはり権利者の意向に沿いたい、沿うべきだということがございますので、次年度の予算として計上させていただいております。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

5番、武井委員。

○5番（武井正広）

大体流れは理解できましたけれども、地権者が多くて、事業も進んできて、まだ形としては見えていないところもあってしまっていて、いろんな御意見をいただいているところも事実ではあります。家の前がいきなり何か話があって変わったのに、うちには話がないとか、いろんなケースがあると思いますので、丁寧にというところは今お話がありましたけれども、よりきめ細かくやっていただきたいなと思いますので、よろしくお願ひします。答弁は結構です。

○委員長（前田せつよ）

ほかに質疑はございませんか。

（「なし」という者多数）

○委員長（前田せつよ）

以上で、議案第25号 令和6年度開成町駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計予算についての質疑を終了します。

以上で第5ブロック、特別会計の質疑を終了いたします。

暫時休憩といたします。再開を10時15分といたします。再開後は、第6ブロック、企業会計の質疑を行います。

午前9時59分

○委員長（前田せつよ）

再開いたします。

午前10時15分

○委員長（前田せつよ）

第6ブロック、企業会計の質疑を行います。

説明員として出席の班長に申し上げます。発言を求める場合は「委員長」と発声し、挙手をしていただき、指名された後にマイクのスイッチが入っていることを御確認の上、課名と名前を述べてから発言をお願いします。

議案第26号 令和6年度開成町水道事業会計予算についてを議題とします。

水道事業会計予算の歳入歳出予算について、詳細質疑を行います。質疑をどうぞ。

9番、佐々木委員。

○9番（佐々木昇）

9番、佐々木昇です。

ページ30、31ページで、工事の関係、新設、布設替工事の関係でお伺いしたいと思います。まず、こちらで使われる水道管、こちらは耐震管なのか確認させてください。

○委員長（前田せつよ）

街づくり推進課班長。

○基盤整備班長（加藤康智）

街づくり推進課の加藤と申します。委員の御質問にお答えさせていただきます。

水道管の工事、下水道に伴う更新工事ということだと思います。下水道工事に伴う水道管の布設替えとか新設とかというのも踏まえてなんですけれども、最近、うちではH P P E管という青い管を使っています、そちらは耐震管になっております。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

9番、佐々木委員。

○9番（佐々木昇）

ありがとうございます。もう、今後、開成町の考え方としては、これから管の布設工事があるときには全て耐震管で対応していくということによろしいのか確認と、現在、配管の耐震化率がどのくらいなのか、分かればお伺いします。

○委員長（前田せつよ）

街づくり推進課班長。

○基盤整備班長（加藤康智）

すみません。時間が遅れまして。街づくり推進課の加藤と申します。委員の御質問にお答えさせていただきます。

まず、今後も、もちろん言われたとおりに、水道管の布設替えとかをやるときは耐震管の管をもちろん使っていきます。

今、耐震化率の話になりましたので、耐震化率につきましては、今現在、R4年度末の状況で水道管の総延長が約87キロございまして、そのうち耐震化されているのが、16.6%の割合で耐震化されているということになります。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

9番、佐々木委員。

○9番（佐々木昇）

ありがとうございます。今後も、ずっと町では耐震管で対応されるという御答弁でした。

ちょっとかぶる質問になるかもしれませんが、現在、能登半島地震、こちらで長引く断水被害、こちらが問題になっております。本町も、今、答弁いただきましたけれども、今後、有事にも強い水道事業の運営、こちらに努めていかなければいけないかなと思いますけれども、町の考えを最後にお伺いします。

○委員長（前田せつよ）

街づくり推進課課長。

○街づくり推進課長（井上 昇）

それでは、委員の御質問にお答えさせていただきます。

能登半島の地震で水道施設が大分被害を受けているといったところは承知してございまして、町でも町の管工事組合ともお話しさせていただいておりまして、開成町において、どういった耐震化に向けた取組が有効かなといったところをお話しさせていただいておりまして、今現在、浄水場等施設、配水池も耐震化は完了してございまして、あとは管路といったところになります。

なかなか、地中に埋まっているものですから一概に、お金をかければ全て安全かということも含めて、開成町において、どういう対応が有効かといったところ。管工事組合からは、水路がかなり張り巡らされている開成町においては、震災後、水路に管を入れて復旧のほうが早いのではないかというような意見もいただいております。その辺も踏まえて、今後、管路の耐震については進めていきたいと考えてございます。

また、先ほど班長が答弁させていただきました耐震化率16%、これは全体でございまして、国等がよく発表しています基幹管路の耐震化においては49%といった形になります。

以上でございます。

○委員長（前田せつよ）

ほかに質疑はございませんか。

5番、武井委員。

○5番（武井正広）

5番、武井です。

25ページの経営戦略改定業務で費用が700万超えて計上されているんですが、これについて説明いただけますでしょうか。

○委員長（前田せつよ）

環境上下水道課班長。

○上下水道班長（山田英男）

環境上下水道課班長、山田でございます。委員の質問に答えたいと思います。

水道の経営戦略の改定業務でございますが、国の指導の下、令和2年度に経営戦略、おおむね今後10年間の収支のバランスを見て財政計画をつくりなさいといったものを2年度までにつくりなさいと言われておりまして、開成町では1年度に予算措置して1年度に事業を執行してつくっておりますが、それを一応、おおむね5年以内に見直して改定しろと国から指導が出ておりまして、それに合わせまして今般、予算計上させていただいて。策定している経営戦略を、現行の人口とかも変わってきていますし、あと事業計画で大規模事業等もございますので、その辺を含めて新たに今後10年間の経営戦略ということで改めると、そういった業務になります。

以上でございます。

○委員長（前田せつよ）

5番、武井委員。

○5番（武井正広）

そういうことだったのですね。令和2年から令和11年までの計画を立てられたので、何で途中で、また経営戦略事業をするのかなという疑問がありまして質問させていただきました。

ここ数年、見てきますと、給水設置個数、1ページのずっと積み上げを見てきますと、令和元年から5年間ぐらいで10%ぐらい給水装置自体が増加していると。総配水も、コロナがあって若干減っていますが、大分戻ってきたのかなという感じもします。将来、いろんな町も開発していくところもありますけれども、毎年言っていますけれども、おいしい安い水だというところが開成町の売りではありませんので、ぜひ、そういうことを考えた上で経営戦略も立てていただきたいなと思いますが、いかがでしょうか。

ということと、もう1つ。経営戦略を立てられるようでしたら、例えば、ウェブサイトの方も。おいしい水のこととかもたくさん載っているのですが、経営比較分析表とかも載っていて、よく見させていただいているんですが、まだ、いまだに令和2年度のもの載っていたりとか。県のほうは、令和4年載っていたりするんですが、丁寧に、そういったところも進めながら経営戦略を立てていただきたいなと思います。いかがでしょうか。

○委員長（前田せつよ）

環境上下水道課班長。

○上下水道班長（山田英男）

環境上下水道課班長、山田でございます。

委員の御質問にお答えさせていただきます。

まず、経営比較分析表のホームページの件、大変申し訳ございません。更新したのですが、更新したアドレスのところ違ってしまっていて、実際に載っていなかったという、そういうことがございまして、今、修正をかけておりますので、今日中にか近日中には更新させていただけると思います。大変申し訳ございません。

それから、水道のおいしい水を安くということでございますけれども、能登半島地震等で水道が断水して生活に支障が出たということが一時、すごくございまして、私どもとしましては、先ほど耐震化の話もございましたが、おいしい水を安く提供するの当然必要なこととございますけれども、安全で安定した供給というところも踏まえまして進めていきたいというところで考えているところでございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

ほかに質疑はございませんか。

（「なし」という者多数）

○委員長（前田せつよ）

以上で、議案第26号 令和6年度開成町水道事業会計予算についての質疑を終了します。

議案第27号 令和6年度開成町下水道事業会計予算についてを議題とします。

下水道事業会計の歳入歳出予算について、詳細質疑を行います。質疑をどうぞ。

9番、佐々木委員。

○9番（佐々木昇）

9番、佐々木昇です。

ページ29ページ、12款1項1目13節委託料で御質問させていただきます。

こちらは内水浸水想定区域計画書の策定とございますけれども、もう少し詳細説明をよろしくお願いいたします。

○委員長（前田せつよ）

街づくり推進課班長。

○基盤整備班長（加藤康智）

街づくり推進課の加藤と申します。委員の御質問にお答えさせていただきます。

御指摘の内水浸水想定区域の作成についての詳細な説明ということで、こちらにつきましては、令和3年に水防法の改正が一部されたことによって、要は、想定最大規模の雨水が降ったときの内水、外水ではない、外からではなくて内水、降った雨の内水に伴う浸水想定区域をつくりましょうというのが国からの指導がありまして、その計画図、浸水想定区域の今、言った想定区域内の雨量というところの区域

をつくるものになっております。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

9番、佐々木委員。

○9番（佐々木昇）

ありがとうございます。本町において、内水浸水被害はかなり、私、可能性が高くて重要になってくると思っておりますけれども、こちらを基に、ちょっと質問は課が違うか、ずれたら委員長、すみません、御指導をお願いしたいと思います、これを基にハザードマップの作成、こちらは考えていただけるのか、お伺いします。

○委員長（前田せつよ）

街づくり推進課班長。

○基盤整備班長（加藤康智）

街づくり推進課の加藤と申します。

委員の御質問、ハザードマップの関係でございます。まず、ハザードマップ、さっき言った外水と内水というのがございまして、外水は既に環境防災のほうで、ごめんなさい、防災のほうでつくられているというところがございまして、今回は内水だけになります。内水につきましては、まず、うちの街づくり推進課の上下水道の担当で想定区域図をつくるというのが第1ステップとなっているところでございます。次のハザードマップにつきましては、担当課である防災のほうと調整しながらというところになるかと思っております。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

参事兼防災安全課長。

○参事兼防災安全課長（小玉直樹）

それでは、お答えしたいと思います。

今、担当が言われたとおり、内水の浸水想定区域図を業務委託で今、令和6年度に策定する、調査して策定する予定ということですので、その後、令和7年度に向けて内水のハザードマップの作成はつくっていきたいと考えております。

ただ、今、外水の洪水ハザードマップがありますので、それと重ね合わせができるのかどうかというのは、令和6年度の調査結果によって、別々につくるのか、一緒にするのかというのは、まだ今後の話になってきますけれども、一応作成する予定でいます。

○委員長（前田せつよ）

9番、佐々木委員。

○9番（佐々木昇）

すみません。御答弁いただきまして、ありがとうございます。前向きというか、作成する方向でということなので、よろしくをお願いしたいと思います。

最後に1点、質問させていただきたいのは、ハード面、この計画をハード面の観

点から見て、効果といいますか活用、この辺をどのように町は考えているのか、考えがあればお聞かせいただきたい。最後の質問になりますので、これは本町において防災・減災を考えた中で、かなり現実的で重要なものになってくると思いますので、ぜひ、こちらの計画策定をしっかりとやっていただいで、今後も有効活用していただきたいとお願いしたいと思います。

○委員長（前田せつよ）

街づくり推進課班長。

○基盤整備班長（加藤康智）

街づくり推進課の加藤と申します。

浸水想定区域のハード面、水路の断面とか構造物とかという、あと調整池とかということだと思うのですけれども、まず、うちの下水道のほうで考えているのは、10年に1回降る降水量に伴う水路の断面、あとは構造物をつくってしまして、その断面についてのある程度の、今、町内の水路構造物は。部分的には浸水するところも、もしかしたらあるかもしれませんけれども、それを考えながら10年の確率で考えています。

今、言った浸水想定区域、想定外のことになりますから、確率が10年ではなくて30年とか長くなると思うのです。そうなると、断面をつくるというと、それだけの費用、断面を大きくしなくてはいけないということもございますから、それは状況を見ながら、まず、メインは10年に1回の確率のものをつくって。大きいものをつくれれば、それはあふれないんですけれども、やはり費用の関係もございますから、それを考えながら整備をしていくようなのかと思っております。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

ほかに質疑はございませんか。

2番、吉田委員。

○2番（吉田敏郎）

2番、吉田でございます。

同じく29ページの委託料の中で、吉田島地区実施設計業務委託762万3,000円、これに対する詳細をお願いします。

○委員長（前田せつよ）

街づくり推進課班長。

○基盤整備班長（加藤康智）

街づくり推進課の加藤と申します。

委員の御質問の吉田島地区の実実施設計委託、これは昨日もお話があったところの榎本地区の議員さんからお話を受けたところの、まずは設計業務、工事の前の設計業務を実施させていただいて、その後、工事ということで、設計は要望いただいでいるので、第1ステップの設計を組んでいく作業を実施していきたいと思っております。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

2番、吉田委員。

○2番（吉田敏郎）

2番、吉田です。

昨日は失礼いたしました。こちらの設計業務委託料ということで、今、詳細をいただきました。本当に、この件に関して、地域住民の方、また職員、また地権者の方も非常に協力をいただいて、こういう形になったということで。また、町の迅速な早い対応を非常に地域住民の方も喜ばれていると思っております。ちなみに実施設計、6年度のいつ頃までに予定しているのか、お願いします。

○委員長（前田せつよ）

街づくり推進課班長。

○基盤整備班長（加藤康智）

街づくり推進課の加藤と申します。委員の御質問にお答えさせていただきます。

こちらにつきましては、工事と違って町内の水路には関係ないところになりますから、実施設計委託になりますので、なるべく早めの発注をさせていただきながら、あとは現地調査、測量等もございます。そういう現地調査もあるので、期間は要しますということで、なるべく早めの発注をしながら年間を通して設計をしていきたいというところをございます。

以上です。

○委員長（前田せつよ）

2番、吉田委員。

○2番（吉田敏郎）

2番、吉田です。

了解をいたしました。また、下水道管敷設工事のほうも、早めに工事を進めていただくということでお願いをしたいと思います。確かに、いろいろ諸事情があり、大変な思いをしてこられたこともありますけれども、町でしっかりと町民に対しての意見を聞き、前向きにいろいろやってくれているということを改めて感じさせていただきましたので、これからもよろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（前田せつよ）

ほかに質疑はございませんか。

（「なし」という者多数）

○委員長（前田せつよ）

以上で、議案第27号 令和6年度開成町下水道事業会計予算についての質疑を終了します。

以上で、第6ブロック、企業会計の質疑を終了します。

これをもちまして、議案第20号 令和6年度開成町一般会計予算についてから、議案第27号 令和6年度開成町下水道事業会計予算についてまでに係る全8会計

の詳細質疑を終了といたします。

全会計において詳細質疑が終了いたしましたので、説明員の方の御出席はここまでで結構でございます。お疲れさまでございました。

暫時休憩といたします。委員におかれましては、議会全員協議会室へお集まりください。

午前 10時35分

○委員長（前田せつよ）

再開いたします。

午後 1時50分

○委員長（前田せつよ）

ただいまから、各議案別に討論・採決を行います。討論は、簡潔明瞭にお願いします。

議案第20号 令和6年度開成町一般会計予算についてを議題として討論を行います。討論のある方は、いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○委員長（前田せつよ）

ないようですので、採決に移ります。

議案第20号 令和6年度開成町一般会計予算について、原案に賛成の方は賛成ボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。ボタンの押し忘れはございませんね。採決を締め切ります。

（全 員 賛 成）

○委員長（前田せつよ）

採決の結果、賛成全員によって可決しました。

議案第21号 令和6年度開成町国民健康保険特別会計予算についてを議題とし、討論を行います。討論のある方は、いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○委員長（前田せつよ）

それでは、討論はないようですので採決をいたします。

議案第21号 令和6年度開成町国民健康保険特別会計予算について、原案に賛成の方は賛成ボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。ボタンの押し忘れはございませんね。採決を締め切ります。

（全 員 賛 成）

○委員長（前田せつよ）

採決の結果、賛成全員によって可決しました。

議案第22号 令和6年度開成町介護保険事業特別会計予算についてを議題とし、討論を行います。討論のある方は、いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○委員長（前田せつよ）

ないようですので、採決します。

議案第 2 2 号 令和 6 年度開成町介護保険事業特別会計予算について、原案に賛成の方は賛成ボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。ボタンの押し忘れはございませんね。採決を締め切ります。

(全 員 賛 成)

○委員長 (前田せつよ)

採決の結果、賛成全員によって可決しました。

議案第 2 3 号 令和 6 年度開成町給食事業特別会計予算についてを議題とし、討論を行います。討論のある方は、いらっしゃいますか。

(「なし」という者多数)

○委員長 (前田せつよ)

討論はないようですので、採決します。

議案第 2 3 号 令和 6 年度開成町給食事業特別会計予算について、原案に賛成の方は賛成ボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。ボタンの押し忘れはございませんね。採決を締め切ります。

(全 員 賛 成)

○委員長 (前田せつよ)

採決の結果、賛成全員によって可決しました。

議案第 2 4 号 令和 6 年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算についてを議題とし、討論を行います。討論のある方は、いらっしゃいますか。

(「なし」という者多数)

○委員長 (前田せつよ)

討論はないようですので、採決します。

議案第 2 4 号 令和 6 年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算について、原案に賛成の方は賛成ボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。ボタンの押し忘れはございませんね。採決を締め切ります。

(全 員 賛 成)

○委員長 (前田せつよ)

採決の結果、賛成全員によって可決しました。

議案第 2 5 号 令和 6 年度開成町駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計予算についてを議題とし、討論を行います。討論のある方は、いらっしゃいますか。

(「なし」という者多数)

○委員長 (前田せつよ)

討論はないようですので、採決します。

議案第 2 5 号 令和 6 年度開成町駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計予算について、原案に賛成の方は賛成ボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。ボタンの押し忘れはございませんね。採決を締め切ります。

(全 員 賛 成)

○委員長（前田せつよ）

採決の結果、賛成全員によって可決しました。

議案第26号 令和6年度開成町水道事業会計予算についてを議題とし、討論を行います。討論のある方は、いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○委員長（前田せつよ）

討論はないようですので、採決します。

議案第26号 令和6年度開成町水道事業会計予算について、原案に賛成の方は賛成ボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。ボタンの押し忘れはございませんね。採決を締め切ります。

（全 員 賛 成）

○委員長（前田せつよ）

採決の結果、賛成全員によって可決しました。

議案第27号 令和6年度開成町下水道事業会計予算についてを議題とし、討論を行います。討論のある方は、いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○委員長（前田せつよ）

討論はないようですので、採決します。

議案第27号 令和6年度開成町下水道事業会計予算について、原案に賛成の方は賛成ボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。ボタンの押し忘れはございませんね。採決を締め切ります。

（全 員 賛 成）

○委員長（前田せつよ）

採決の結果、賛成全員によって可決しました。

以上をもちまして、本予算特別委員会に付託されました議案第20号 令和6年度開成町一般会計予算についてから、議案第27号 令和6年度開成町下水道事業会計予算についてまでの8会計にわたる審査は全て終了いたしました。

3日間にわたり慎重審査をいただき、ありがとうございました。また、委員会運営に御協力をいただきましたことにつきまして、重ねて御礼申し上げます。

委員長報告は、明日14日の本会議で報告させていただきます。

これにて予算特別委員会を散会いたします。

大変にお疲れさまでございました。

午後1時58分 散会